

## 総合資源エネルギー調査会第 1 1 回基本政策分科会における

### 放射性廃棄物に関する主な意見等

増田委員長より、資料に基づいてこれまでのWGにおける審議状況について説明し、その後、質疑応答が行われた。

#### ○各委員からの主な御質問

- 使用済燃料について、危険性を最小化するオンサイトでの中間貯蔵（乾式貯蔵）が必要であること。
- 安全確保に向けて、独立性のある規制機関の関与が必要であること。
- 適地の絞り込みに当たって、その基準は透明性のあるプロセスの下で議論する必要があること。
- 原子力の廃棄物の発生量は他の電源のそれに比べて少ないというスケール感を認識する必要があること。

#### ○質問に対する増田委員長からの御回答

- 中間貯蔵の問題解決の重要性はWGでも議論。ただし、WGでは最終処分の方決めるのがミッションであること。
- 処分推進体制はこれから検討する予定だが、今後、概要調査等を踏まえ、地点が絞られてきた段階で、規制機関が策定する基準に基づきステップを進めていくことになるのではないか。
- 適地絞り込みに向けては、基準を明確にして科学的検証によって対象を狭めていくことが必要。
- 原子力の廃棄物の量については、他の電源に比べて少ないことはもとより、再処理を条件としているから量的には更に少なくなると理解。